

小学校6年生 がん教育 学級活動学習指導案

1 本時の学習指導

① 題材名「がん博士になろう! がんのひみつ」

② 本時の目標

「がんについて知り、予防するために自分のできることを考えよう」

- がんの原因を知り、がんは、予防できる病気であることを理解する。
- がん予防のために、自分でできることを考え、よい生活習慣や家族への呼びかけを実践する意欲を持つことができる。

③ 本時の指導にあたって

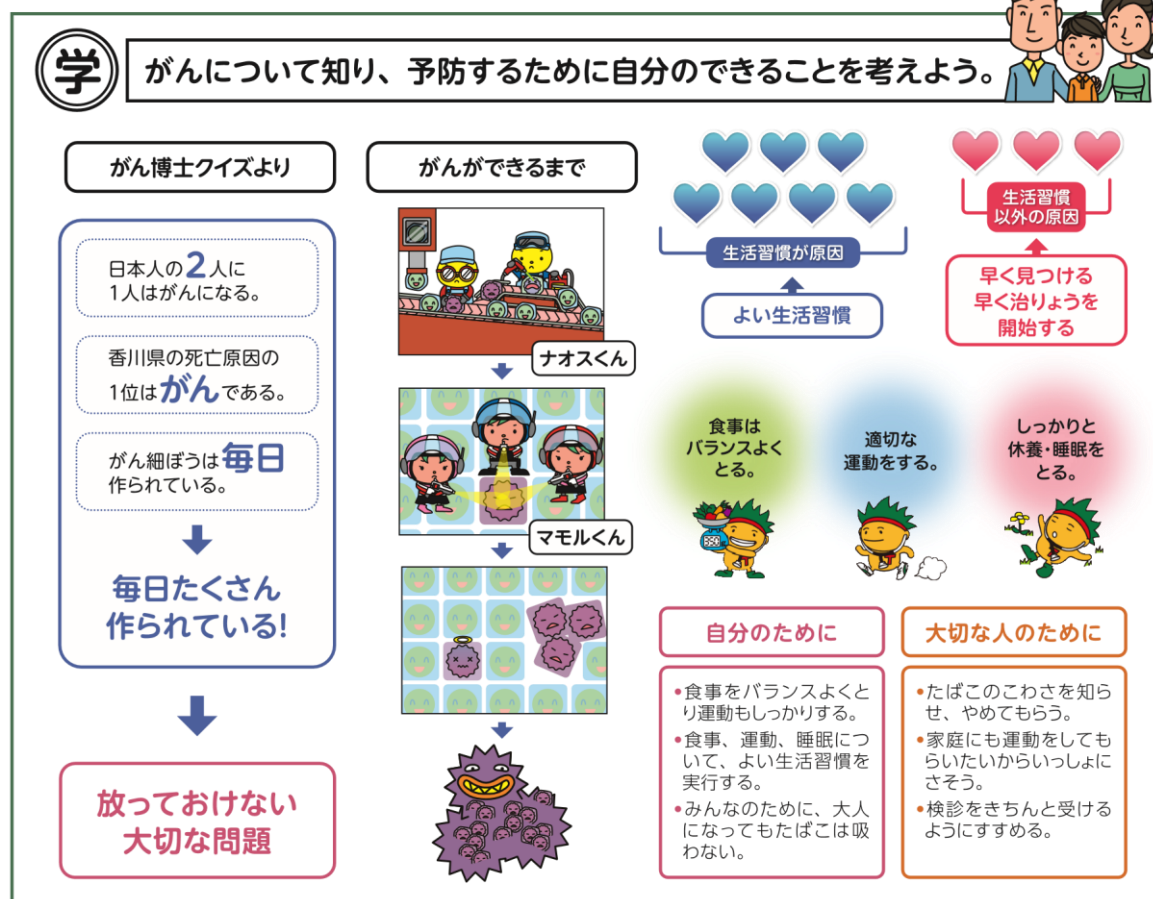
- 児童ががんについて興味をもてるような導入を工夫する。
- 児童ががんは怖い病気というイメージを持たないように配慮する。
- 児童ががんを予防するために、自分ができるところを工夫をする。

④ 準備物

教師 スライドショー視聴機材一式、6年生用スライドショーデータ、ワークシート、事前事後アンケート、板書用掲示物

児童 筆記用具

⑤ 板書計画



6 本時の展開 (45分)

	学習活動	○発問助言等 ■予想される児童の反応	教師の支援活動
🕒 導入 3分 ／ 45分	1 禁煙のポスターから、知っていることや考えたことを発表し合う。	○なぜ学校の敷地内では禁煙なのでしょう。 学校にもポスターがあるかなあ。	●禁煙のポスターを掲示し、禁煙が呼びかけられる理由について考えるきっかけとする。
🕒 展開 27分 ／ 45分	2 「がんのひみつ」の スライドを見る。 ① ワークシート1にがん博士の出す○×クイズの答えを記入しながら学ぶ。 Q 日本人の5人に1人はがんになる。 Q 香川県の死亡原因の1位はがんである。 Q がん細胞は毎日作られている。 Q 体の中で作られるがん細胞はどのくらいか。	○がんについてスライドを見て学びましょう。 がん博士になろう! がんのひみつ A ☒ 日本人の2人に1人はがんになる。 A ☒ 死亡原因の1位はがんであり、その人数は増えている。 A ☒ 毎日作られている。 A ☒ たくさん 毎日たくさんのがん細胞が作られる。 ○クイズの答えを黒板をみて振り返ってみましょう。 ○このようながんを放っておいていいのでしょうか。 放っておけない大切な問題。がんについて正しく知り、自分にできることを考えないといけない。	●自分にとって大切な人を心に思いながら、学習するよう助言する。 ●香川県版6年生がん教育教材スライドを上映し、説明を加えながら進める。 ●保健学習の「喫煙と健康」の関連を図るようにする。 ●スライドの中から、掲示用パネルを用意しておき、振り返りがしやすいように順次掲示する。 ●ワークシートは、スライドを進める中で、効果的に記入時間を取るようにする。 ●がんについて知り、自分や家族の生活を見直すことを押さえる。
がんについて知り、予防するために自分のできることを考えよう。			
	② スライドの説明を聞いた後にワークシート2「がんができるまで」を記入し、確認をする。	○がんのできるまでを詳しく見ていきましょう。 ●細胞の設計ミスで、がん細胞ができる。修理できずに生き残ったがん細胞が、増えてかたまり、がんになる。	●スライドの登場人物の役割を確認する。



次のページに続く

	学習活動	○発問助言等 ■予想される児童の反応	教師の支援活動
	③ スライドの説明を聞いた後にワークシート3「がんの原因10のうち」を記入し、確認をする。 ④ スライドを見ながら、よい生活習慣の具体的な内容を確認し、ワークシート4「がんを予防するために」に記入する。 3つの生活習慣 • 食事はバランスよくとる。 • 適切な運動をする。 • しっかりと休養・睡眠をとる。 ⑤ スライドの説明を聞いた後に、大切なこと2つをワークシート5「がんから命を守るには」に書き写す。 2つの大切なこと • 早く見つける。 • 早く治す。	○がんの原因を10あるとして見てみましょう。 • がんの原因10のうち、たばこの影響が3、食事や運動などが4、生活習慣以外の影響は3。 生活習慣以外の原因が10のうち3もあるんだ。 ○がんを予防するために、できることを考えてみましょう。 がん予防には3つの生活習慣が大事。 ○それ以外に、たばこを吸うことやお酒の飲み過ぎも気を付けることが大事です。 がんの原因から予防する方法を考えることが大事なんだ。 ○がんから命を守るために、大切なことが2つあります。 がんを小さいうちに検診で見つけ、早く治療を開始することが大事。 検診を受けているのは2人に1人。 がんは早く見つけることが大切なんだ。将来、がん検診を受けたい。	• 生活習慣以外の原因に感染が多くを占め、その他遺伝や放射線、科学物質などがある。がんそのものが、インフルエンザのように人から人に移るものではないことや、遺伝の全体に占める割合は、僅かであることを確認しておく。 • 学習した原因から、がんを予防するために自分たちができることを考えるよう促す。 • 前々のスライドから、生活習慣以外の原因があることから、よい生活をしていても防げないがんがあることを確認する。 • がんになっても命を落とさない方法があることに気付かせる。
④ まとめ 15分／45分	3 大切な人ががんで命を落とさないために、何ができるかを考える。ワークシート6「考えてみよう」に記入する。 ① 1人で ② グループで ③ 全体で	○自分には何ができるのかを考え、話し合ひましょう。 自分のために 板書 • 食事をバランスよくとり運動もしっかりする。 • 大人になってもたばこは吸わない。	• 副流煙の影響で肺がんになったと思われる体験者の話にも触れる。 • 既習を生かして、自分にできることを考えるよう促す。



次のページに続く

	学習活動	○発問助言等 ■予想される児童の反応	教師の支援活動
	4 大切な人にメッセージを考え、ワークシート7に記入する。	大切な人のために 板書 - たばこの怖さを知らせ、止めてもらう。 - たばこを吸っていない人も副流煙から影響を受けるので、検診に行ってもらいたい。 - 家族みんなで食事や運動に気をつけていきたい。 ○「自分のために」「大切な人のために」、この2つの視点で考えられました。自分も周りの人も大切にできる事は素晴らしいことです。 ○大切な人にメッセージを送りましょう。 - たばこを止めてほしい。 - 検診を受けてほしい。 - 家族みんなでよりよい生活習慣を実践していこう。 ○心をこめて書いたメッセージを大切な人にぜひ伝えてくださいね。これからも、自分のために、大切な人のために行動していきましょう。	●今日学んだことを、自分の言葉で伝えるよう助言する。

評価

- ・がんの死亡が増えていることやがんの原因を知り、がんを予防するためにより生活習慣が大切であることが分かったか。
- ・大切な人ががんで命を落とさないために、よい生活習慣以外に検診を勧めるなど、自分ができることを考えることができたか。